

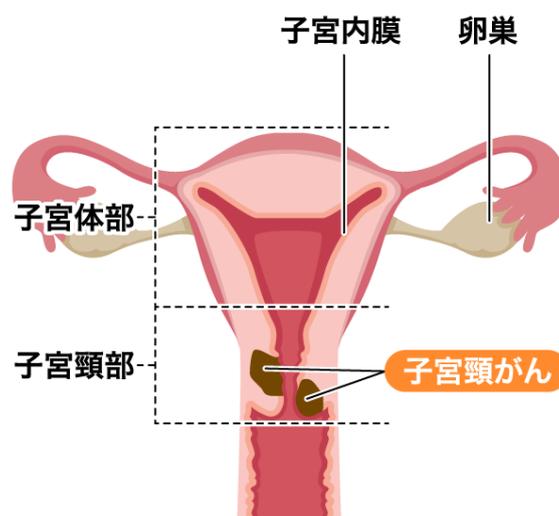
子宮頸がん予防接種 —頸がん・異形成・コンジローマの予防—

2023. 4. 1

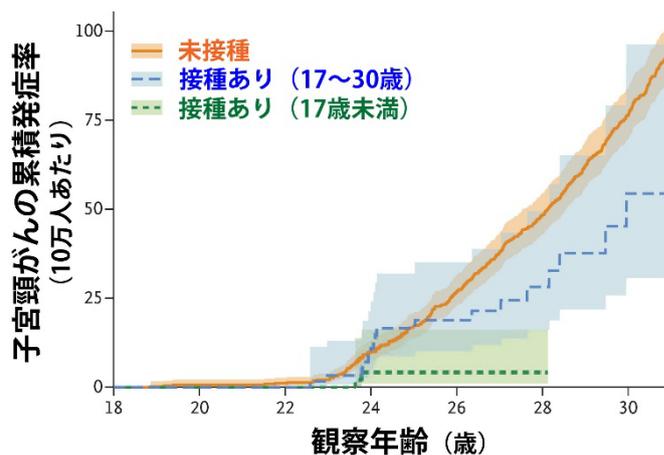
松本産婦人科医院 院長 松本直樹

0495-24-3377

子宮のがんは、子宮体がんと子宮頸がんに分けられます。子宮体がんは、子宮の上部である子宮体部に発生するがんです。その発生には女性ホルモンや遺伝的素因がかかっています。子宮頸がんは、子宮の下部である子宮頸部に発生するがんです。その上皮細胞が子宮頸部異形成という前がん状態を経て、徐々に子宮頸がんへと悪化していきます。そしてそれを引き起こす原因のほとんどがヒトパピローマウイルス(HPV)であるとわかっています。発症のピークは30歳後半ですが20歳台にも発症します。国内では年間約1万人の女性が子宮頸がんを発症し約3000人が死亡しています。



子宮頸がん予防接種では、子宮頸がんを特に起こしやすいタイプのウイルスのタイプ(HPV 16・18型)を主な標的としたワクチンを接種します。このワクチンにより子宮頸部異形成と子宮頸がんが大幅に減少したことが明らかになっています(高度子宮頸部異形成 89%減少, 子宮頸がん 88%減少)。将来的には予防接種とがん検診を組み合わせることで子宮頸がんの撲滅まで期待されています。



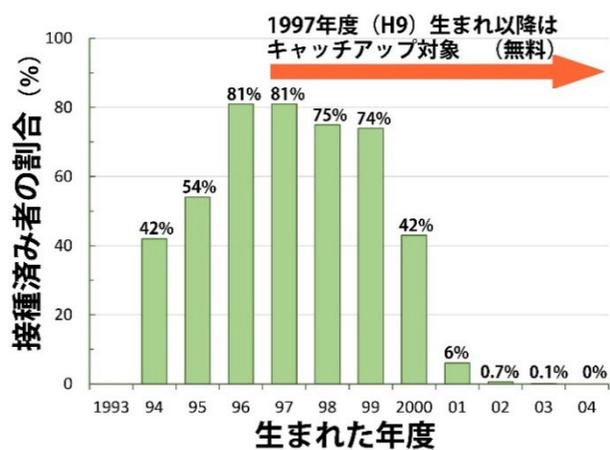
子宮頸がんワクチンのがん予防効果 (スウェーデン 2020年)

子宮頸がん予防接種は、12歳から16歳までに受けるべき定期予防接種です(小学6年から高校1年相当)。その対象期間に接種を受ければ無料です。また1997(H9)年度生まれ以降の女子はキャッチアップ接種の対象となっていて同様に無料です。従来からのHPVワクチン(2価または4価)と新しい9価ワクチン(シルガード9)を選択できます。当院では、より幅広い効果が期待できるため後者が薦めています。9価ワクチンのシルガード9は、子宮頸がんを起こしうるHPV 16・18・31・33・45・52・58型と、尖圭コンジローマ(性器にできるイボ)の原因となるHPV 6・11型の計9種のHPVのタイプをカバーしていて、それらに対する免疫を得ることができます。

標準の接種スケジュールは、15歳未満(中学2年程度)では、6か月間で2回、15歳以上では6か月間で3回接種を受けます(2か月後に2回目、さらに4か月後に3回目)。子宮頸がん予防接種は、性的活動が始まる前に開始することが最大の効果につながるため、より若い世代での接種が望ましいです。しかし、それを過ぎても効果はあるので、少なくともキャッチアップ対象の世代では接種を受けるべきです。さらには、それ以上の年齢であっても、ある程度の効果はあるとされています。

予防接種には副反応の心配が付きものです。さまざまなワクチンに共通して、軽いものとして発熱・発疹・局所反応など、重いものとしてアナフィラキシー・けいれん・脳脊髄炎・ギランバレー症候群などが挙げられます。日本では2013年に子宮頸がん予防接種が定期予防接種となりましたが、その後に重い副反応の疑いが取りざたされました。しかしその後、国内外の調査研究の結果から、子宮頸がんワクチンだけに特有な重い副反応はないとされました。ただし主な接種対象者が思春期の女子であるため、幼児の予防接種とはやや異なる副反応がみられます。比較的多いのが、過緊張や寝不足などに伴う心因性反応・迷走神経反射で、一過性の欠伸やけいれんを起こすこともあります。特に初回の接種の際には、前日に十分な睡眠をとり、無理のないスケジュールで接種を行い、接種後は院内でしっかりと休息をとってからお帰りください。保護者の方は、接種する子どもが接種前後に不安を覚えないようサポートしてあげてください。

しばらくの間、子宮頸がん予防接種が停止状態にあったため、多くの女子が予防接種を受けられずにいました。その救済のため1997(H9)年度生まれ以降の女子はキャッチアップ接種の対象となりました。本庄市の場合、予診票の交付手続きについて本庄市保健センター(健康推進課)またはアスピアこだま(市民福祉課)で、母子健康手帳または接種履歴がわかるものを持参し確認してください。



子宮頸がん予防接種を受けた割合(日本 2016年)

子宮頸がんワクチンに関するより詳しい情報は厚生労働省のホームページから見ることができます。子宮頸がん予防接種は、子宮頸がん・子宮頸部異形成・尖圭コンジローマに対し極めて有効な予防法です。子どもの貴重な予防接種の機会を知らずに逃すことのないようにしましょう。

【費用について】 自費接種の場合

シルガード9 (HPV 9 価ワクチン)

税込 28,600 円 (×原則 3 回)